

連絡先

医療法人養和会 松本 みゆき
TEL 0859-29-5351
Mail matumoto_m@yowakai.com



9月は、「敬老の日」「お彼岸」など、家族との絆を感じる行事がありますね。子どもの行事では、運動会・体育祭も行われるところも多いですね。また、9月15日頃の「十五夜」は月を愛でながら収穫に感謝する日です。この頃は、空が澄んで月が美しいため、「中秋の名月」ともよばれています。家族と一緒に空を見上げて見ると、新たな気持ちになれるのでは・・・。



医療法人養和会
松本 みゆき看護師

第16回 あさがおを開催しました！



8月28日（土）、オレンジサロンかみごとうにて会場1名、Zoom3名で第16回あさがおを開催しました！当日は、日常生活で洗濯後の衣類の固さについて、治療後の復職についてなど、多方面にわたる話があり、意見を共有しました。

感想

「直接皆さまとお話出来てたくさんのパワーを頂きました。本当にありがとうございました。また、次回お会い出来るのを楽しみに、また引き続き治療に取り組みます」

第17回 あさがお

日時 9月28日（火）20時～21時

場所 オレンジサロンかみごとう
医療法人養和会（米子市上後藤3-4-54）
Zoomも併用します。

10月は、**10月23日（土）** 13時～15時
－毎月開催－奇数月：第4火曜 偶数月：第4土曜

奇数月は“ゆうがお”として夜に開催します！
20時～21時（19時～Zoomを開放・自由に出入り可）
参加希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい！

開催時、鳥取県内の新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、オレンジサロンかみごとうでの開催は中止とし、Zoom開催のみとなる場合がございます。

あさがお通信、お送りします！

ご希望の方に、毎月発行しているあさがお通信を郵送いたします。ぜひご連絡ください！



あさがおの開催などの情報をFacebookに掲載しています。ぜひご覧ください！



Facebook「いいね」お願いします！

参加者のコーナー

今月のテーマ「懐かしい物」



わーちゃん
カセットテープ



まるちゃん
足踏みミシン



ニコン派
アンティーク



ゆにママ
懐かしのシングルCD

あさがお参加者グループメンバー
からいただいた写真作品



Cancer Parents

「つながりは、生きる力になる。」この言葉は、こどもをもつがん患者の方が同じ境遇の方とつながり、交流することのできるコミュニティサイト『キャンサーペアレンツ』こどもをもつがん患者でつながろう』のコンセプトです。

一般社団法人キャンサーペアレンツ

理事 高橋智子

「つながりは、生きる力になる。」この言葉は、こどもをもつがん患者の方が同じ境遇の方とつながり、交流することのできるコミュニティサイト『キャンサーペアレンツ』こどもをもつがん患者でつながろう』のコンセプトです。

キャンサーペアレンツは2015年、当時35歳でステージ4の胆管がんの告知を受けた西口洋平さんが、不安や孤独を抱えながらも、周囲に相談できる同世代のがん患者さんはいない中、「孤独を感じながら闘病しているのは自分だけではないはず」と2016年4月に立ち上げました。

2020年5月、西口さんの旅立ち以降も、彼が生み出したつながりは広がり続け、生きる力へとつながっています。ひとりだとしても、「想い」だけで止まってしまうことでも、誰かとつながることで「想い」が「声」に変わり、さらには実現へと進むことができます。『あさがお』を立ち上げられた松本みゆきさんとの縁も、キャンサーペアレンツとのつながりが生み出してくれました。



地域を問わず相談できる場所を増やしたい。不安や悩みに大きいも小さいもない。いろんな生き方選択肢があつていい。大事な自分はどう生きたいのか。自分の気持ちに蓋をしようとする、自分の声に耳を傾けることもできなくなってしまいます。病氣と向き合うのは身体だけではありません。心も深くつながっています。気持ちを伝えたいときに伝えられる場所があることの大切さ。人とつながり社会とつながる、この積み重ねが私たちひとりひとりの「今を生きる」につながってくると思いますが、気持ちを伝えることのできる場所の1つとして、キャンサーペアレンツという居場所もあるということをより多くの方に知っていただけたら嬉しい限りです。

『病氣になったけど…』

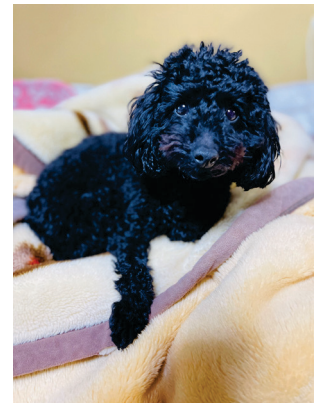
ニックネーム：ひまわり

「肺癌・ステージ4」が分かった時、私は30代前半。結婚3か月で子供を持ちたいと思って行った産婦人科での検査での事でした。仕事もステップアップして頑張ろうと充実していた時期。自覚症状はなく、衝撃とともに「そんなに長く生きられないのかな…」と死が頭をよぎりました。

同世代は出産・子育ての時期なのに、自分は生きることで精一杯。なんでこの歳でこのタイミングなの…と周りを羨ましく思ってしまう、生きたいのに生きる力が湧かない毎日でした。

そんな中で、犬を迎え入れてみないかと夫からの提案。

犬の寿命より先に逝くかもしれないし、私も犬も旅立った時の夫の気持ちを考えると躊躇しました。それでも夫の「今ある時間を楽しく生きよう」という言葉に背中を押され、生後三か月の子犬をハルちゃんとして名付け迎え入れました。いたずらしたり、甘えたり、トイレを覚えたり、少しずつ成長してく姿は人間の子供と一緒に。今では私たちの子供だと思って暮らしています。守りたい存在に生きがいを感じ、次第に気持ちも明るくなってきました。



治療の効果で病氣は寛解となり、現在は分子標的薬を内服しています。副作用はあるけど病状は安定し、仕事復帰できるまでに改善しました。よそはよそ、うちのうち。周りとは比べず、自分なりの生き方で幸せを感じて生きていこうと思います。

こうしてパソコンに向かいながらも、横にいるハルちゃんからは遊んでアピールが。お散歩に行こうかな？ ボール投げして遊ぼうか？ 今はこんな毎日が幸せです。

通信の感想・ご意見など、なんでもお気軽にお寄せ下さい。

医療法人養和会 松本 みゆき ☎ 0859-29-5351

✉ matumoto_m@yowakai.com



養和会HP

